

青森県生物多様性戦略【2025-2030】 概要

第1章 生物多様性について

生物多様性の重要性及び関連する動向

第2章 青森県の生物多様性

自然環境、生物、恩恵、現状と課題

第3章 基本的事項

戦略改定の趣旨、位置付け、対象区域、進行管理等

【計画期間】2025（令和7）年度～2030（令和12）年度

第4章 青森県が目指す社会（将来像）

【基本理念】「いきものたちを育み恵みを授ける自然と共に生きるあおもり」

【2050年目標（長期目標）】

目標1【知る】人と自然のつながりを理解し次代に伝えるあおもり

目標2【活かす】生物多様性がもたらす恵みを活かすあおもり

目標3【守る】いきものたちの命を守り育てるあおもり

【2050年目標達成に向けた戦略（2030年目標：短期目標）】

6つの2030年目標を設定（別紙のとおり）

第4章 青森県が目指す社会（将来像）

【「自然と共に生きるあおもり」ゲートウェイプロジェクト】

世界自然遺産白神山地等を自然についての学びや生物多様性の保全活動へと誘うゲートウェイ（玄関口）と位置付け、保全活動や利用を促進するほか人材育成などに集中的に取り組む

【2030年までの重点取組】

2030年時点において実現される状態像を重要業績指標(KPI)で表すとともに、その実現に向けて特に注力する取組を重点取組と位置付け、施策を展開

第5章 行動計画

2030年目標ごとに取り組むべき具体的な施策(別紙のとおり)

第6章 推進体制と進行管理

【推進体制】戦略の担い手と求められる役割

【進行管理】

- ・16のモニタリング指標を設定し施策の進捗状況を把握
- ・基本計画の政策点検等による進行管理（別紙のとおり）

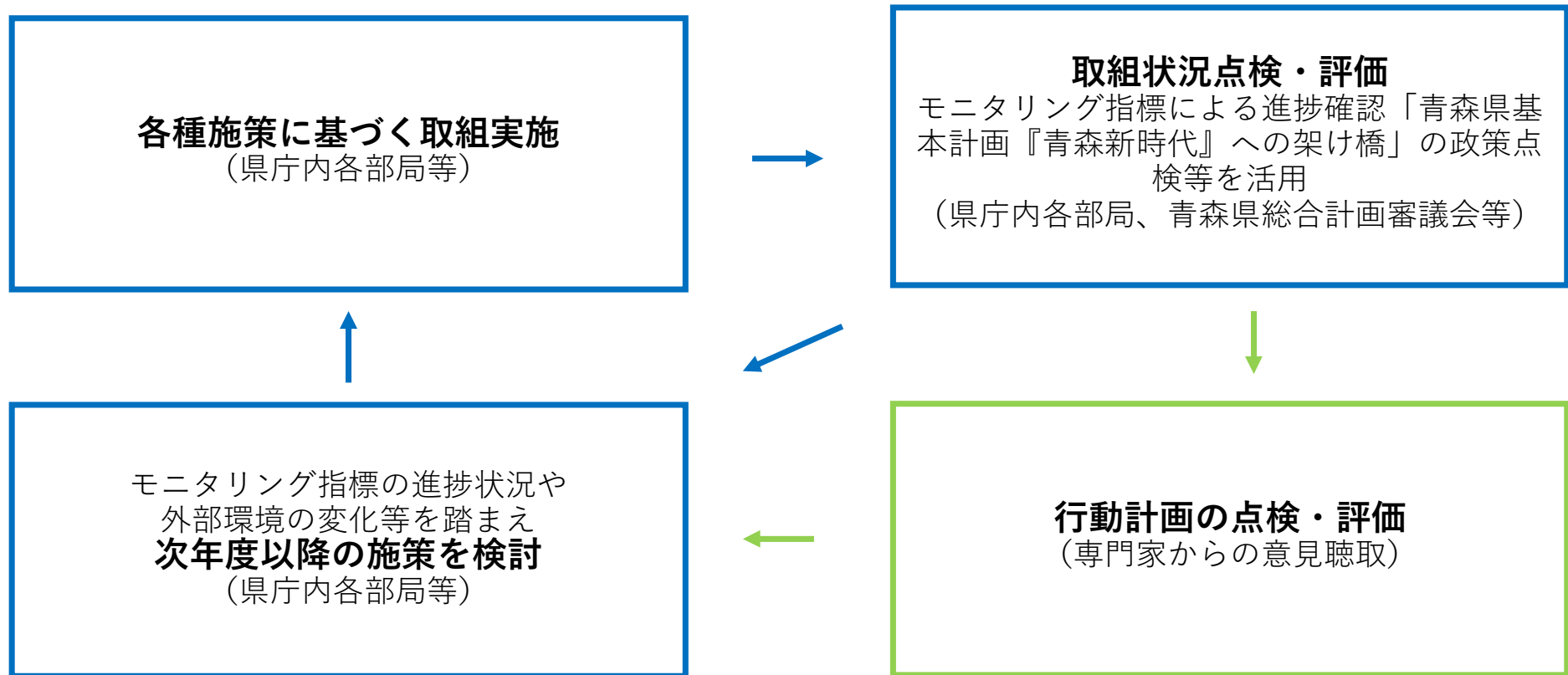
青森県生物多様性戦略【2025-2030】 目標及び施策の構成

基本理念：いきものたちを育み恵みを受ける自然と共に生きるあおもり				
2050年目標 (長期目標)	2050年目標達成に向けた戦略 (2030年目標：短期目標)		行動計画（取組）	
【知る】 人と自然のつながりを理解し次代に伝えるあおもり	戦略1	生物多様性が身近に感じられる環境をつくる	(1)	自然環境に関する情報の集約
			(2)	情報の発信及び普及啓発の推進
			(3)	自然とのふれあい推進
			(4)	生物多様性を保全する体制の構築
	戦略2	県民の生物多様性に関する理解を促し保全意識を育む	(1)	環境学習の取組推進
			(2)	地域における自然環境を支える人財育成の推進
【活かす】 生物多様性がもたらす恵みを活かすあおもり	戦略3	自然環境に配慮し生物多様性の恵みの持続可能な利用を図る	(1)	生物多様性の保全をより重視した農林水産業の推進
			(2)	生物多様性保全型の観光利用の推進
			(3)	生物多様性に配慮した企業活動の促進
	戦略4	自然を活用した社会課題の解決(NbS)に取り組む	(1)	生物多様性の観点からの地球温暖化防止対策の推進
			(2)	地域の伝統的な食・産業・文化から得られる恵みを活用した振興の推進
			(3)	自然の恵みを活かした防災・減災の推進
【守る】 いきものたちの命を守り育てるあおもり	戦略5	野生鳥獣と人との調和共存を図る	(1)	野生鳥獣と人との関係性の再構築に向けた取組の推進
			(2)	野生鳥獣の適切な保護管理
	戦略6	健全な生態系の確保及び回復を図る	(1)	県土（陸及び内陸水域）の30%以上を保全
			(2)	希少種の保全と外来種対策

青森県生物多様性戦略【2025-2030】 モニタリング指標

NO	戦略	指標	現況	目標	備考
1	1(1),6(2)	希少種リスト及び外来種リストの改定	－	改定(R12)	
2	1(1)	自然環境関連施設における情報共有及び知見の集積のための施設間ネットワークの構築	－	構築(R12)	
3	1(2), 1(3)	県白神山地ビジターセンター及び県立自然ふれあいセンターにおける自然体験事業参加者数	610人(R5)	700人(R10)	
4	2(1)	各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間で自然観察をテーマとした学習活動を行っている小学校の割合	29.6%(R4)	50% (R12)	
5	2(2)	人財データベースの構築	－	構築(R12)	
6	3(1)	GAP認証取得件数	44件(R5)	45件(R8)	
7	3(1)	有機農業の取組面積	554ha(R4)	900ha(R8)	
8	3(1)	県特別栽培農産物取組面積	485ha(R4)	700ha(R8)	
9	3(1),6(1)	再造林率	32%(R4)	40%(R10)	
10	3(1)	海面漁業漁獲量	117,029t (R5)	現状を維持(R12)	県統計
11	3(1)	内水面漁業漁獲量	2,799t (R5)	現状を維持(R12)	農水省統計
12	4(2)	農林水産業で発生するバイオマス利用率 (稲わら、りんご剪定枝、間伐材、家畜排せつ物等)	86.3%(R2)	89.7%(R7)	
13	5(1),5(2)	野生鳥獣による農作物被害面積	14.08ha(R4)	現状を維持(R12)	
14	5(1)	狩猟免許所持者数	1,888人(R5)	2,300人(R12)	
15	6(1)	県内の陸域及び内陸水域の保護地域とOECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）の総面積	174,702ha(R6)	290,000ha(R12)	県面積の30%
16	6(1)	自然共生サイト認定数	2か所(R6)	8か所(R12)	

青森県生物多様性戦略【2025-2030】の進行管理



青枠部分は毎年度実施する。緑枠部分は2030年度を目途に実施する。